

■殺虫剤：農業用

有機リン系

ネマトリン®エース粒剤

登録番号：20265
 毒性：－
 消防法：－
 有効年限：3年

成分 ホスチアゼート……1.5%
 物理的・化学的性状 類白色細粒

包装：5kg×4 20kg×1

◆特長

- ガス抜き作業が不要で、処理後すぐに播種、植付ができます。
- センチュウと直接接触することにより低濃度で運動を阻害し、かつ殺センチュウ力も有していることから、安定した高い効果があります。
- 浸透移行性を有するため、根内に有効成分が吸収され、センチュウの根部への侵入の阻止、根内のセンチュウの発育抑制などの効果を発揮し、さらに、地上部害虫のハダニ、アザミウマ、コナジラミにも効果があります（なす）。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ホスチアゼートを含む農業の総使用回数
いちじく	ネコブセンチュウ	20kg/10a	収穫60日前まで	1回	樹冠下処理	1回
かんしょ		15～20kg/10a	植付前		作条土壌混和	2回以内 (苗床は1回以内、 本圃は1回以内)
	10～30kg/10a	苗床植付前	全面土壌混和			
ばれいしょ	アブラムシ類	20～25kg/10a			植付前	
	ネコブセンチュウ					
やまのいも	ネコブセンチュウ	20kg/10a				
やまのいも(むかご)						
さといも	ネグサレセンチュウ	25kg/10a				
オクラ	ネコブセンチュウ	20kg/10a				は種前
とうがん						定植前但し、 収穫45日前まで
しろうり			定植前但し、 収穫21日前まで			
ズッキーニ(花)			定植前			
ズッキーニ			15～20kg/10a	定植前		
かぼちゃ						
きゅうり						
にがうり	は種前又は定植前					
すいか	定植前					
メロン						
トマト						
ミニトマト	2回以内 (定植前の土壌混和は1回以内、土壌灌注は1回以内)					

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ホスチアゼートを含む農業の総使用回数
なす	ネコブセンチュウ	15～20kg/ 10 a	定植前	1回	全面土壌混和	1回
	ハダニ類 ミナミキイロアザミウマ オンシツコナジラミ	20kg/10 a				
ピーマン	ネコブセンチュウ	15～20kg/ 10 a				
いちご	ハダニ類	25kg/10 a				
	ネグサレセンチュウ	20～25kg/ 10 a				
だいこん	ネグサレセンチュウ	15～25kg/ 10 a	は種前			
	ネコブセンチュウ	15～20kg/ 10 a				
にんじん	ネグサレセンチュウ	20kg/10 a				
	ネコブセンチュウ	15～20kg/ 10 a				
ごぼう	ネグサレセンチュウ	20kg/10 a			は種溝土壌混和	
	ネコブセンチュウ			植溝土壌混和		
らっきょう	ネダニ	15kg/10 a				
	ネグサレセンチュウ					
にんにく	イモグサレセンチュウ	25kg/10 a	植付前		3回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、球根浸漬は1回以内、土壌灌注は1回以内)	
しょうが	ネコブセンチュウ	20kg/10 a	植付前	全面土壌混和	2回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、土壌灌注は1回以内)	
葉しょうが			1回			
みょうが (花穂)			定植前		2回以内 (種根茎浸漬は1回以内、定植前の土壌混和は1回以内)	
みょうが (茎葉)						
あずき	ダイズシストセンチュウ		は種前		1回	
ガーベラ	ネコブセンチュウ		植付前			
カーネーション	クローバーシストセンチュウ					
すずらん		25kg/10 a				
きく	ネグサレセンチュウ	20～25kg/ 10 a	定植前		2回以内	
	ナミハダニ	20kg/10 a				

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ホスチアゼートを含む農業の総使用回数
ぼ た ん	ネコブセンチュウ	20kg/10 a	定植前	1回	全面土壌混和	3回以内 (定植前の土壌混和は1回以内、生育期の根鉢浸漬は1回以内、土壌灌注は1回以内)
つ つ じ 類	イシクセンチュウ					1回

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- (2)ごぼう、いちじく、らっきょう以外の作物に使用する場合は、所定量の薬剤を圃場全面に均一に散布し、土壌中に均等に分布するようによく混和すること。
- (3)いちじくに使用する場合、樹冠下全面に処理し、栽培様式からみて可能であれば土壌混和すること。
- (4)散布が不均一だったり、混和が不十分だと効果不足や薬害を生じることがあるので注意すること。
- (5)作物によっては定植時展開葉に軽微な薬害を生じることがあるが、その後の展開葉及び生育には特に影響はない。
- (6)間びき菜、つまみ菜には使用しないこと。
- (7)蚕に対して、長期間毒性があるので、桑園に飛散しないように注意すること。
- (8)ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
- (9)本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (10)適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (11)取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

◆安全使用上の注意

- (1)本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2)使用の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3)作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4)かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (5)街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

◆魚毒性

この登録に係る使用方法では該当がない。